

令和2年度（第41期）事業計画

1. 総務関係

1-1 会員状況

特別会員	111社・団体(134口)
正会員	960名
学生会員	100名

1-2 社員総会

令和2年度定時社員総会

[日時]	令和2年5月26日（火）13：00～14：00
[場所]	堂島リバーフォーラム 2階 202・203会議室

1-3 表彰

第9回学会賞、第9回学会貢献賞、第8回茅賞、第8回学生発表賞、第16回論文賞表彰式

[日時]	令和2年7月28日（火）14：00～14：20
[場所]	大阪大学中之島センター

1-4 理事会（学会賞・学会貢献賞選考委員会）、総務委員会

* 定例理事会を3回、臨時理事会を1回、総務委員会を3回、学会賞・学会貢献賞選考委員会を2回程度開催する。

2. 企画関係

2-1 講演会

第39回エネルギー・資源学会研究発表会特別講演会

[日時]	令和2年7月28日（火）14：30～16：45
[場所]	大阪大学 中之島センター 10F 佐治敬三メモリアルホール
[次第]	*特別講演 1. 「株式会社JERAの取組みについて（仮題）」 2. 「世界遺産 百舌鳥・古市古墳群について（仮題）」
[司会]	下田 吉之（大阪大学）

交渉中
大阪大学 福永 伸哉

第37回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス特別講演会

[日時]	令和3年1月26日（火）16：20～17：30
[場所]	東京大学 生産技術研究所 An棟 2F コンベンションホール

2-2 講習会

* 講習会もしくは講座を年間2回開催する。

第1回講習会

[日時]	未定
[場所]	東京
[テーマ]	

2-3 研究会・見学会

*年間4回程度開催する。

第1回研究会（見学会併催）

[日 時]
[場 所]
[テーマ]
[コーディネーター]

第2回研究会（見学会併催）

[日 時]
[場 所]
[テーマ]
[コーディネーター]

2-4 研究発表会

第39回エネルギー・資源学会研究発表会

[日 時] 令和2年7月28日（火）～29日（水）
[場 所] 大阪大学 中之島センター
[発表時間] 1件20分（講演15分、討論5分）
[発表件数] 件

第37回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス

[日 時] 令和3年1月26日（火）～27日（水）
[場 所] 東京大学 生産技術研究所 As棟・An棟
[発表時間] 1件20分（講演15分、討論5分）
[共 催] 電力中央研究所、日本エネルギー経済研究所、エネルギー総合工学研究所、地球環境産業技術研究機構、
（予定） コージェネレーション・エネルギー高度利用センター
[後 援] 新エネルギー・産業技術総合開発機構
（予定）
[協 賛] 化学工学会、日本原子力学会、日本エネルギー学会、(株)三菱総合研究所、電気学会、日本機械学会、
（予定） 日本シミュレーション学会、公益事業学会、日本エレクトロヒートセンター

2-5 研究プロジェクト

研究プロジェクト「エネルギーの脱炭素化に関する調査研究」

*第1期（前半）（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

*標記研究プロジェクトを推進する。

委員長 松橋 隆治（東京大学）
副委員長 加藤 丈佳（名古屋大学）、菅 敏昭（関西電力(株)）、根田 徳大（東京ガス(株)）
アドバイザー 浅野 浩志（電力中央研究所、岐阜大学、東京大学、東京工業大学）、下田 吉之（大阪大学）
委 員 17名

2-6 研究部会

オータムワークショップ2020

[日 時] 令和2年10月～12月頃
[場 所] 東京大学 本郷キャンパス（予定）
[テーマ] 「長期温暖化対策シナリオと企業のリスク戦略」
[世話人] 松橋 隆治（東京大学）
[代表幹事] 藤野 純一（地球環境戦略研究機関）
[幹 事] 井上 智弘（エネルギー総合工学研究所）、井上 麻衣（(株)リバネス）、上道 茜（早稲田大学）、
小澤 暁人（産業技術総合研究所）、白木 裕斗（滋賀県立大学）、杉山 昌広（東京大学）、
鈴木 研悟（筑波大学）、永井 雄宇（電力中央研究所）、藤澤 星（(株)フジサワ）、
古林 敬顕（秋田大学）、山口 容平（大阪大学）、渡邊裕美子（(株)Loop）

2-7 懇話会

*エネルギー・資源・環境に係る諸問題について懇談する場として、年間6回（東京3回、大阪2回、名古屋1回）開催する。

第1回エネルギー政策懇話会

[挨拶] 一般社団法人エネルギー・資源学会副会長、懇話会世話人代表 手塚 哲央
[日時] 令和2年7月3日（金）14：40～17：00（懇話会）、17：00～18：30（交流会）
[場所] 東京ガス(株)本社会議室
[テーマ] 「中東のエネルギー・ジオポリティクスをどう読み解くか」
[話題提供者] 1. 畑中 美樹（国際開発センター）
2. 渋谷 祐（エナジー・ジオポリティクス）
[司会] 小川 芳樹（東洋大学）、武谷 亮（東京ガス(株)）

第2回エネルギー政策懇話会

[日時] 令和2年9月頃
[場所] 東桜会館（予定）
[テーマ] 「VPP」（仮題）
[司会] 加藤 丈佳（名古屋大学）、田村 守淑（東邦ガス(株)）

第3回エネルギー政策懇話会

[日時] 令和2年10月頃
[場所] 堂島リバーフォーラム（大阪）
[テーマ] 「電力のレジリエンス強化に向けて」
[話題提供者] 1. 大山 力（横浜国立大学）
2. 和田 哲史（関西電力送配電(株)）
[司会] 小杉 隆信（立命館大学）、長谷川友安（関西電力(株)）

第4回エネルギー政策懇話会

[日時] 令和2年11月頃
[場所] 東京
[テーマ] 「タクソノミー」（仮題）
[司会] 前田 章（東京大学）、伊野 慎二（(株)構造計画研究所）

第5回エネルギー政策懇話会

[日時] 令和3年1月頃
[場所] 大阪
[テーマ] 「水素・燃料電池の動向」（仮題）
[司会] 秋元 圭吾（地球環境産業技術研究機構）、西田 亮一（大阪ガス(株)）

第6回エネルギー政策懇話会

[日時] 令和3年3月頃
[場所] 東京
[テーマ] 「モビリティとエネルギーの接点におけるイノベーションの展望」（仮題）
[司会] 松橋 隆治（東京大学）、田口 泰啓（(株)NTTファシリティーズ）

2-8 エネルギー施設の災害・安全対策研究会

*本会に参加するエネルギー関連企業や大学・研究機関の専門家が相互に情報を交換し、参加メンバー自らの災害・安全対策に生かすことを目的とした研究会を適宜開催する。

2-9 研究委員会

2050年に向けた日本のエネルギー需給

*我が国の温室効果ガス低減に向けた長期発展戦略の策定のための情報整理と議論に併せて、長期的なエネルギー需給の道筋に関する調査・検討を行い、その成果を学会会員、学会外に対し提供する。

家庭部門のCO₂排出実態統計調査利用研究会

*家庭CO₂統計の調査票を共有し、それぞれの研究領域から多様な視点で分析し、意見交換や議論をすすめ、その成果を学会会員、学会外に対し広く提供する。

2-10 エネルギー検定

*日本エネルギー学会と共同企画により、WEB上でエネルギー検定を進める。問題作成委員会を設け、問題を更新する。

2-11 受託研究

* 本会の目的と合致した場合、受託研究を行う。

2-12 共催行事

* 本会の目的に合致した場合、他の団体との共催行事を開催する。

2-13 企画実行委員会（茅賞・学生発表賞選考委員会）

* 企画実行委員会を5回、茅賞・学生発表賞選考委員会を2回程度開催する。

3. 編集関係

3-1 会誌「エネルギー・資源」の刊行

* 年6回奇数月10日刊行とし、各号A4判64頁程度とする。

<特集予定>

通巻241号（5月号）特集「人工光合成研究の最前線」

通巻242号（7月号）特集「デジタル時代の建築分野における環境設計」（仮題）

通巻243号（9月号）特集「洋上風力発電の最前線」（仮題）

通巻244号（11月号）特集「カーボンリサイクルの最新動向」（仮題）

通巻245号（1月号）特集「未定」

通巻246号（3月号）特集「未定」

3-2 会誌・論文誌のWEB掲載

* 会誌は、本会HP「会員専用ページ」に本文のみ公開する。

* 採択された研究論文は、J-STAGEに「エネルギー・資源学会論文誌」として公開する。

3-3 会誌の国際化

* 英文投稿を受け付ける。

3-4 国際交流

* Elsevier社との出版協定に基づき、「エネルギー・資源学会論文誌」に掲載された研究論文の著者にApplied Energy誌への掲載を薦める。

3-5 編集実行委員会（査読委員会・論文賞選考委員会）

* 編集実行委員会を6回、査読委員会を6回、論文賞選考委員会を3回程度開催する。

4. その他

* 学会ホームページのリニューアルを実施する。

* その他の本会の目的に合致した諸活動を必要に応じ実施する。

* 新型コロナウイルス感染症拡大による影響は予測困難であり、事業計画及び予算に変更が生じることがある。